

安倍晋三は本気

全ては海外での武力行使が目的

日本版NSC法、特定秘密保護法、国家安全保障基本法、解釈改憲



イラク訴訟弁護団の川口
創弁護士を講師に、革新・岡
崎の会主催の憲法学習会を、
10月20日岡崎市体育館
第一会議室で行いました。

講演の概要は、次のとおり
です。

立憲主義は橋下対策

憲法とは、「独裁」を叫ぶ
橋下みたいな人物がいるか
らこそ、「権力を縛る安全装
置」として立憲主義がある。
日本国憲法が大事にする価
値は、「あなたがあなたであ
るゆえに尊い」とする個人の
尊厳（13条）、戦争の放棄
などが挙げられる。

自民党は中国を笑えるか

ところが、自民党の憲法草

案は、立憲主義自体を否定し、
天賦人權論も否定し、平和主
義も放棄するもので、集团的
自衛権行使だけではない代
物で、中国や北朝鮮を笑える
のか、と言いたい。

安全保障基本法が焦点

国家安全保障基本法は、憲
法破壊法であり、これを頂点
に海外で戦争する法体系を
作ろうとしている。そのため
にも内閣法制局長官の首を
すげ替えた。

自民党の国家安全保障基
本法案（概要）を読めば、集
团的自衛権の行使を当然と
し、愛国心教育と国防教育を
進め、あらゆる分野で軍事優
先を国と地方公共団体に義

務付けている。特定秘密保護
法の制定も示されている。

国連安保理決議あろうと
なかりうと軍事行動をとる
こととしている。いつでもど
こへでも海外で戦争する道
を開こうと、特措法ではなく

一般法として国際平和協力
法案も予定している。さらに、
国の産業経済構造を軍事優
先に変えていくためにも、軍
需産業を大事に育てる武器
の輸出入が奨励される。

何しろ石破自民党幹事長
は、基本法が福島より優先事
項なのである。
集团的自衛権のウソ
先の有識者懇談会が議論
するとした4類型はウソ。米

国を狙うとする北朝鮮の弾
道ミサイルは日本の上空を
通らない。公海上の軍艦は魚
雷対策のためにも近くには
おらず、記念写真のように並
んではない。近くにいれば
自衛艦に対する攻撃として
個別的自衛権で対応できる。
そして、国家を擬人化して
国家と国家との関係を隣の
家との諍いのように考える
のは間違いであり、自衛権と
正当防衛の話は別である。

安保・アメリカの要請

日本の軍備拡張は日米安
保条約の下で、アメリカから
の要請という面と、尖閣諸島
を巡って安保が発動されな
いので日本が軍事力をつけ
ないといけないという日本
内部の面がある。安保の片務
性を沖繩の負担でバランス
をとっていると考え、沖繩の
負担軽減のためには集团的
自衛権行使容認で双務とす
る考えもある。

実体が先行、次は法律を

中国の軍拡の目的は、政権

維持のためという面がある
が、その海軍力は、自衛隊よ
りも劣る（中日新聞・半田滋）
なかで、今の日本の長距離先
制能力は実態が先行してい
るが、ソフト面の法案の整備
ができていない。

だからこそ、明文改憲を経
ずに3セット（国家安全保障
法案、特定秘密保護法案、日
本版NSC法案）がたくらま
れている。

現憲法の価値の再認識

を
イラク戦争はアメリカの
先制自衛権。イギリスはアメ
リカに対する集团的自衛権
で参戦した。私たちは、集团
的自衛権行使が10年前に
可能だったら、日本も正面か
ら参戦し、自衛隊員が殺し殺
されることになっただろう
ことを考えて欲しい。
そうさせなかったところ
に憲法があったのです。

文責 世話人・福田秀俊

12月の9の日宣伝
10日(火)11時
スーパーピアゴ 洞店

特定秘密保護法制定に反対する要請 青山、重徳、中根各衆議院議員事務所に

安倍内閣が制定をめざしている「特定秘密保護法案」は、政府に都合の悪い情報を隠蔽するだけにとどまらず、国民の知る権利を刑罰をもつて押さえ込もうとする監視社会・統制社会を目指すものであり、断じて許せません。

革新・岡崎の会では11月11日に、石田事務局長と中根、若山世話人の三名で、反対する要請文と福島県議会で全会一致で採択された「特定秘密保護法案に反対する意見書」を添えて地元選出の国会議員を訪問しました。

最初に訪問した重徳和彦衆議院議員事務所（上六名三）では、事務員の方に申し入れました。次の青山周平衆議院議員事務所（伝馬通五）では、秘書の方に申し入れました。中根康浩衆議院議員事務所（滝町）に13日に石田

事務局長と福田世話人で訪問しました。

運動を広げ、いろいろな団体・個人と協力・協同して必ず廃案に追い込みましょう。

世話人・若山春史

臨時国会は、暗黒政治一歩手前、緊急に阻止行動が必要！

臨時国会は、戦略特区、派遣法改悪という格差拡大政策、日本をアメリカに売り渡す公約裏切りTPP交渉、消費税増税強行表明、原発再稼働維持と海外セールスという環境破壊政策、国家主義によるアメリカと一体となった戦争国家造りのNSCや秘密保護法と、安倍政権の暴走が風雲急を告げています。

暴走を阻止するには、具体的な阻止行動がすぐに必要です。参院選で威力を発揮した、誰でもできるインターネットと草の根のロコミという私たちの武器を使うとき

年内にポスター作成普及

「認し、「集会」

の趣旨に賛同する団体、個人を募集していきます。

年内にはポスターを作成していく予定です。実行委員、賛同人を募り、賛同される団体、個人には賛同金を寄せていただき、ポスターの掲示など集会成功に向けて協力をお願いしていきます。そして、3月9日

中電岡崎支店前から原発を秘密にしてはダメ

恒例となった中電岡崎支

店前での「原発ゼロ行動」が、11月11日11時から行なわれました。今回で12回。最初に、福島県議会在10月9日に自公も含め全会一致で採択した意見書が紹介されました。この意見書は、今、国会で審議中の「特定秘密保護法」案をめぐる、原発の安全性に関わる問題や住民の安全に関する情報が「特定秘密」に指定される可能性があるとして、「慎重な対応を求

合わせて、力を原



革新・岡崎の会
代表世話人・荒川和美

一日だけの取り組みとせず、当日に向けて、「福島訪問の報告のつどい」、原発労働者の実態を描くDVDの「上映会」「写真パネル展」などを計画し、「福島を忘れない」の思いを具体化していきます。

第1回実行委員会は、11月26日(火)18時30分から、弁護士法人リブレ3階会議室です。事務局長・石田邦芳

める」とするものです。

参加者は28名。参加者の訴えには、大飯原発見学、飯館村や浪江町訪問の報告があり、他の原発集會に参加した人の訴えもありました。訴える人たちの原発への思いが熱く、訴える時間がなくなりました。向かいの葵の湯や車窓から手を振って賛同の意思を表明して下さる方もおり、恒例のものとなるようにしたいものです。

世話人・足立勝彦